

日本語の誤認識が及ぼす他言語表現の誤用について

—— 助動詞「そうだ」の認識について ——

金 銀 英*

Mistranslation through Incorrect Use and Misrecognition of Japanese Words

— Regarding “Souda” (meaning “it is said that” and “it looks like”) —

by

KIM Eunyoung

要旨

本稿では日本語母語話者が「そうだ」をいかに認識するかを、他言語表現から探ることを試みた。3年以上韓国語を学習している上級者を対象に日本語原文を韓国語に訳するワークシート記入を依頼した結果、伝聞「そうだ」を韓国語の伝聞「고 하다」[ゴ ハダ]と回答したグループ（正用）と推測「것 같다」[コッ カッタ]と回答したグループ（誤用）に分かれた。次に「そうだ」を他の日本語に言い換えてもらおうと「と聞いた」「らしい」（伝聞・正用）との回答もあったが3分の1以上が「みたいだ」（推測・誤用）と答えた。従って、他言語表現における誤用の原因の一つとして母語の誤認識が考えられる。今回、異なる年齢、職業、学習歴の参加者に同様のワークシートを実施した後日口頭確認を行ったが、誤用に学習歴などの偏りは認められず、各々の日本語の誤認識が他言語表現における誤用を引き起こしたと確認された。

キーワード：他言語表現、日本語表現、言語認識、韓国語学習、伝聞、様態

1. はじめに

2002年サッカーワールドカップ日韓共同開催と韓国ドラマ・K-popブームをきっかけに大学の韓国語講義はもちろんのこと、民間のカルチャーセンターの韓国語講座にも受講者が急増した。具体的な例として筆者が担当する大学での受講生数の推移を挙げる。サッカーワールドカップ開催前の2002年4月に開講した「韓国語初級」には45名の受講生が集まったが、開催

* 西南学院大学非常勤講師

翌年の2003年は73名、2004年は112名が集まった。その後は大学側も韓国語講義の数を増やした結果、2003年や2004年のような混雑は見られなくなった。

民間のカルチャーセンターでは、2000年代前半までは韓国に親しみを持つ年配の受講生が多かったが、韓流ブーム以降からは年齢は10代から70代まで、職業は学生、会社員、専業主婦等と幅広い受講者が集まるようになった。2000年代前半に比べると学習者は増加し、多様化した。但し、その多様化から観察できる他言語表現における現象の研究は十分に成されてないのが現状である。

多くの韓国語授業は、最初の1～2年で基本となる文法を学び、3年目からフリートークや作文へ移行する。3年目以降になると韓国旅行での簡単な意思疎通は不自由なくできるが、長文作文では共通する誤用が見受けられる。

韓国語学習者に見られる誤用研究の多くは初級・中級学習者に限られる物が多い。日本人母語話者を対象にした研究には김중섭・이정희 (2008)⁽¹⁾の助詞の誤用研究があり、誤用の原因は母語の機械的置き換えから起因するとしている。初級・中級だけでなく高級（日本における上級）クラスからもサンプルを取ったとしているがその具体的数値は示されておらず、どのレベルの学習者にどれだけの誤用があったかが不明確である。白寅英 (2017)⁽²⁾では日本の大学で選択外国語として韓国語を学ぶ中級学習者の誤用例を文法論・意味論・談話論・表記と広範囲にわたって分類しているが、概観に留まっている。

本稿では日本人韓国語学習者における誤用の原因が機械的な置き換え以外にもあると想定し、それを探ることを目標とした。韓国語、つまり他言語表現で生じる間違いを言語間の相違に起因すると数多くの研究が指摘しているが、その他の原因について指摘したい。

2. 他言語教育に関する先行研究

他言語学習における日本語学習者の誤用については、すでにいくつかの考察がなされているが、その多くが助詞についての研究である。

福間 (1997)⁽³⁾は、教材の掲載順序を指摘した。第4課で学習した「に」を3ヶ月後、類似する構文に「で」が出現してから「に」と「で」の誤用が見られ始めたことを指摘し、教材の掲載順番で誤用が生じるとしている。教材の掲載順番が影響力を持っていることは、韓国語学習者にも見られる⁽⁴⁾。

迫田 (2001)⁽⁵⁾は、日本語の助詞「に」において前後する語と一つのユニットとして扱う学習者のユニット形成のストラテジーが誤用を招くとしている。この指摘を拡張して韓国語学習者に当てはめると特定の語彙の使用が特定の文型の使用に繋がるが、その文型の使用そのものが誤用になる場合がある。

若生 (2010)⁽⁶⁾ は、韓国人日本語学習者の「に」と「で」の誤用について学習ストラテジーの関与を認めつつ日本語学習における中間言語の影響について指摘している。一部の例外を除き日本語の「に」は韓国語の「에 [エ]」に、「で」は「에서 [エソ]」に対応するため誤用が生じ難いが、韓国人日本語学習者のインタビューデータで中間言語からの移行では予想できない誤用が見られた事を指摘し、誤用の要因として学習ストラテジーを言及した。

助詞以外の研究については、指示詞の誤用研究⁽⁷⁾ や韓国人母語話者に見られる日本語全般にわたる誤用のパターン分析⁽⁸⁾ などがある。また受動表現における日本語と韓国語の相違点の実態⁽⁹⁾、授受表現における逆転移行現象についての考察⁽¹⁰⁾ などが助動詞の研究に当たるが、本稿で取り上げる「そうだ」または「고 하다」[ゴ ハダ：だそうだ]⁽¹¹⁾ に関する他言語表現研究はなされていない。

3. 調査方法

韓国語作文における誤用の傾向を確認するため 12 センテンスからなる日本語原文を韓国語に書き直すワークシートを日本語母語話者 23 名に実施した。参加者の内訳は次の通りである (表 1)。

表 1 ワークシート作成参加者一覧

年齢		職業		学習歴	
20代	7名	大学生	7名	3年目	11名
30代～40代	6名	会社員	10名	4年目	4名
50代～60代	9名	専業主婦	4名	4年以上	8名
70代	1名	定年退職者	2名		

ワークシートは韓国語学習者が韓国語作文で誤用し易いと思われる表現を織り交ぜ 10 分程度で完成できる長さにした。また文脈を有する事で意味の取り違いによる誤用は回避できるようにした。各センテンスは全て学習済みの文法で構成されており、辞書の使用を許可し、辞書に載ってない語彙や曖昧な語彙は予め提示した⁽¹²⁾。

実施の前に参加者と日本語原文を読み上げ、意味が不明確な箇所があるかを確認した。また日本語の逐語翻訳にすると不自然な韓国語になる事を参加者に予め知らせ、原文の内容を十分に伝えられる自然な韓国語を目指すよう依頼した。

ワークシートの内容は以下の通りである (図 1)。

- S1: 韓国語を学んで3年が経ちました。
 S2: しかし韓国に行った事は一度もありません。
 S3: 今度の3月にはどんなことがあってもソウルに行きます。
 S4: ソウルに行って徳壽宮に行きたいです。
 S5: 徳壽宮の石垣をテレビで見ましたが、
 S6: とても綺麗だったので歩いてみたいです。
 S7: 徳壽宮の近くにあるワッフル屋さんでワッフルも食べたいです。←「고 싶다: ~たい」を使わないで
 S8: ワッフルの後は仁寺洞に行って韓定食を食べようと思います。
 S9: その後は아름다운 [アルンダウン: 美しい] 茶博物館に行って木蓮茶を飲んでみたいです。
 S10: とても香りがいいそうです。
 S11: しかし3月のソウルは寒いでしょうね。
 S12: 寒いのでダウンコートで行こうと思います。
 S13: 一人はつまらないので一緒に行きましょう。

이름:	
한국어를 배우고 3년이 되었습니다.	
하지만 한국에 간 적은 한번도 없습니다.	
이번 3월에는 무슨 일이 있어도 서울에 갑니다.	
서울에 가서 덕수궁에 가고 싶습니다.	
덕수궁의 <u>벽돌 (돌담)</u> 을 텔레비전에서 보았지만	
とても綺麗だったので歩いてみたいです。【綺麗だ예쁘다】	
덕수궁의 근처에 있는 와플집에서 와플도 먹고 싶습니다。←「고 싶다」を使わないで>	
와플의後は 인사동에서 <u>韓定食 (한정식)</u> 을 먹고 싶습니다.	
その後は 아름다운 차 박물관에서 <u>木蓮茶 (목련차)</u> 를 마시고 싶습니다.	
とても <u>香い (향)</u> 이 좋습니다.	
하지만 3월의 서울은 춥을 것 같습니다.	
추워서 다운 (코트)을 입고 싶습니다.	
한 사람은つまらないので 같이 갑시다。【つまらない심심하다】	

図1 ワークシート

本稿では各センテンスに番号を振ってそれぞれ S1、S2…と表記する。S5 と S6 は一つのセンテンスであるが長くなるためワークシート作成の便宜上、途中で分けた。

4. 調査結果

ワークシートの結果を日本語原文の意味が正しく韓国語訳された正用例、異なる意味の韓国語訳になった誤用例、正・誤用に当てはまらないその他の例の三つに分類した(表2)。

13問中11の設問で誤用が見られた。

例えば、S5の「テレビで見ましたが」では前提条件と逆接の混同例が見られ、S7では「고

表2 ワークシートの結果

	設問の目的	正用	誤用	その他
S1	「～て～になる」の文型の理解	17	6	-
S2	「～たことがある／ない」文型の理解	18	5	-
S3	意思表示への認識	12	11	-
S4	願望表現の使用	23	-	-
S5	前提条件の接続への認識	15	6	2
S6	理由の接続の使用	23	-	-
S7	多様な願望表現の理解	17	3	3
S8	「고 생각하다: と思う」の回避	14	9	-
S9	時間順序の接続の認識	20	3	-
S10	「とても」の正しい語順	2	21	-
S11	同意を求める表現の理解	8	7	8
S12	「ダウンコートで」に省略された部分を補足	12	11	-
S13	勧誘表現の理解	11	12	-

싶다」[코 シッタ: ～たい]以外の願望表現が使えず空欄のまま残すなどの例が見られた。S8「食べようと思います」では韓国語に逐語訳すると不自然になる「고 생각하다」[코 センガカダ: と思う(思考する)]をそのまま使用するなど、筆者の想定した誤用の予想から大きく外れない結果だった。

但し、S10で予想外の結果が出た。

S10は副詞「とても」の位置を正確に記述できるのかを判断するための設問である。日本語母語話者は「とても香りがいいそうです」を日本語語順通りに「너무 향이 좋대요」[ノム ヒャンイ チョテヨ]にしがちだが、韓国人は「향이 너무 좋대요」[ヒャンイ ノム チョテヨ: 香りがとてもいいそうです]と語順を変えないと違和感を覚える。「とても」の語順変換がなされたのは2名に過ぎず予想通りだったが、設問の目的だった「とても」の位置ではなく「いいそうです」で筆者の予想外の誤用が見られた。

5. 助動詞「そうだ」の韓国語訳における誤用の分析

本章では、ワークシートの結果に基づく韓国語訳「そうだ」の誤用の分類と分析について述べる。

5・1 日本語「そうだ」の韓国語訳

今回実施したワークシートにおける「いいそうです」の正しい韓国語訳⁽¹³⁾は以下の通りである。

a ① 좋다고 합니다. [チョッタゴ ハムニダ：いいそうです]

－ 伝聞、格式丁寧

a ② 좋답니다. [チョッタンニダ：いいそうです]

－ 伝聞、格式丁寧の略

a ③ 좋다고 해요. [チョッタゴ ヘヨ：いいそうです]

－ 伝聞、非格式丁寧

a ④ 좋대요. [チョッテヨ：いいそうです]

－ 伝聞、非格式丁寧の略

なお、韓国語の丁寧表現は二種類あり、格式丁寧（합니다 [ハムニダ] 体）は公式な場や初対面の相手、上司に使い、非格式体丁寧（해요 [ヘヨ] 体）は私的な場や親交のある相手、同僚・部下に使用する。

異なる言い回しとして以下も考えられる。

b ① 좋다고 들었어요 [チョタゴ トゥロッソヨ：いいと聞きました]

b ② 좋다고 들은 적이 있어요. [チョタゴ トゥルンチョギ イッソヨ：いいと聞いた事があります]

韓国語上級者は伝聞のモダリティを周知していて、学習の過程で伝聞を含む韓国語作文や日本語訳を難なくこなしたため苦手としている印象を受けなかった。筆者は設問作成の段階で「そうだ」は伝聞「고 하다」[ゴ ハダ]のみで訳されると予想した。しかし、その結果は以下の通りとなった（表 3）。

ワークシートの文脈に沿って「そうだ」を伝聞表現に訳したのは 12 例あった。これらを正用グループとした。残りの回答を誤用グループとその他グループに分けた。

全体の 35%を占める誤用グループは「そうだ」を韓国語推測 것 같다 [コッ カッタ：みたいだ] に当てはめたグループである。つまり大葉（2015）⁽¹⁴⁾で述べる「そうだ」の推量系用法として解釈している。

表3 S10における「そうです」の結果

分類	回答の詳細	回答数
正用グループ 計12例 (全体の52%)	좋다고 합니다 [チョッタゴ ハムニダ: いいそうです=上記 a ①] 좋습니다 [チョッタンニダ: いいそうです=上記 a ②] 좋다고 해요 [チョッタゴ ヘヨ: いいそうです=上記 a ③] 좋대요 [チョッテヨ: いいそうです=上記 a ④] 좋다고 들었어요 [チョッタゴ トゥロッソヨ: いいと聞きました=上記 b ①]	1例 1例 5例 4例 1例
誤用グループ 計8例 (全体の35%)	좋은 것 같습니다 [チョウンゴ カッスンニダ: いいようです] 좋을 것 같아요 [チョウルコ カッタヨ: いいみたいです=下記 c ②] 좋겠어요 [チョッケソヨ: いいでしょう=下記 d ②]	2例 4例 2例
その他グループ 計3例 (全体の23%)	좋아요 [チョアヨ: いいです] 좋더라고요 [チョットラゴヨ: よかったんです]	2例 1例

回答を分類した表を基に誤用グループとその他グループの詳細について述べる(表3)。

韓国語における推量は以下の如くである。

c ① 좋을 것 같습니다. [チョウルッコ カッスンニダ: いいみたいです]

－ 推量、格式丁寧

c ② 좋을 것 같아요. [チョウルッコ カッタヨ: いいみたいです]

－ 推量、非格式丁寧

d ① 좋겠습니다. [チョッケスンニダ: いいでしょう]

－ 推量、格式丁寧

d ② 좋겠어요. [チョッケソヨ: いいでしょう]

－ 推量、非格式丁寧

e 좋을걸요. [チョウルコリヨ: いいと思います] － 推量

ワークシートでは c ②、d ②が見られた他、婉曲な言い回し 좋은 것 같다 [チョウンゴカッタ: いいようだ] も見られるが、これは3年目の学習者からの回答が主で韓国語連体形の理解不足⁽¹⁵⁾ から起因するものと見なし c ①に分類した。その他グループは、断定にあたる 좋아요 [チョアヨ: いいです] と感嘆にあたる 좋더라고요 [チョットラゴヨ: よかったです] の3例があったが、いずれも「そうだ」の語の意味から離れている。

5・2 誤用の原因

「そうだ」を様態と訳した34%の誤用の原因について述べたい。誤用の要因として、まず韓国語学習歴が考えられる。学習歴別正誤は次の通りである(表4)。

表4 学習歴別結果

	正用	誤用	その他
4年以上	4 (50%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)
4年目	2 (50%)	2 (50%)	-
3年目	6 (54.5%)	3 (27.3%)	2 (18.2%)
計	12	8	3

当初の予想では学習歴が長いほど誤用が少ないと思われたが、4年以上の学習者からも誤用が3例見られ、4年目の学習者からは2例、3年目の学習者からは3例見られた。むしろ3年目の学習者が正用の割合がやや高い。この結果から学習歴は誤用と関係が無いと思われる。

学習歴の次に考えられる誤用の要因に年齢や職業の関係も考えられるため年齢別（表5）、職業別（表6）にまとめた。

表5 年齢別結果

	正用	誤用	その他
20代	4 (57.1%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)
30～40代	4 (66.6%)	2 (33.3%)	-
50～60代	4 (44.4%)	4 (44.4%)	1 (11.1%)
70代	-	1	-
計	12	8	3

表6 職業別結果

	正用	誤用	その他
大学生	4 (57.1%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)
会社員	5 (50%)	4 (40%)	1 (10%)
専業主婦	2 (50%)	2 (50%)	-
定年退職者	1 (50%)	1 (50%)	-
計	12	8	3

表5の20代と表6の大学生は全く同じデータで、これら20代大学生の誤用率が最も低いことは注目すべきであるが、反面正用率はやや高い程度に止まっている。

ワークシートの結果を韓国語の学習歴、年齢、職業別に分類してみたが注目すべき偏りはなかった。また今回の参加者はそれぞれ異なる教室とテキストで学習を続け、異なる個人的背景⁽¹⁶⁾を持っていることも考慮に入れると誤用の要因とすべき属性の特徴は見つからなかった。

そこで、韓国語学習歴などの学習者の属性ではなく日本語原文に対する認識、つまり日本語「そうだ」に対する学習者各々の認識について考察すべきだと考えた。

5・3 日本語原文の誤認識

韓国語は日本人が学び易い外国語として知られている。S4がその良い例で文末の丁寧度合いが異なるだけで全員同じ回答を示した。

S4 ソウルに行って徳壽宮に行きたいです。

서울에 가서 덕수궁에 가고 싶습니다.

[ソウレカソ トッスグンエ カゴシッスンニダ] - 格式丁寧

서울에 가서 덕수궁에 가고 싶어요.

[ソウレカソ トッスグンエ カゴシッポヨ] - 非格式丁寧

このような一対一の翻訳、すなわち機械的な語の置き換えによる翻訳に近い韓国語作文が可能な時期は筆者の韓国語指導経験から2年目中盤、いわゆる中級の前半までと言える。但し、学習が進むにつれ日本語と韓国語は一対一の対応をしなくなる。「そうだ」のように伝聞と様態の役割を持つ場合はそれぞれの韓国語に対応させなければならず、原文である日本語を正しく解釈する必要が出てくる。

5・4・1 ワークシートの再記入

4年以上学習者3名と4年目の学習者3名に同じワークシートを再度記入してもらった。1回目はその場で書いてもらったが2回目は一旦持ち帰って自由に記述時間を設けられるようにした。ワークシートを自宅に持ち帰ってテキストやノートなどを参考にして日本語の原文を正しい韓国語に訳すよう促した。結果は次の通りである(表7)。

6名中改善したのは2名、推量から変化無しが2名、伝聞から推量への好ましくない変化も見られた。この結果から韓国語知識の問題ではなく日本語の認識そのものに原因があることが明確になったため、更に日本語「そうだ」に対する認識の確認を進めた。

表7 再記入後の変化

参加者番号	1回目	→	2回目	備考
230	伝聞 b ①	→	推量 c ②	改悪
240	推量 c ②	→	伝聞 a ③	改善
250	推量 c ②	→	推量 c ②	推量のまま
310	伝聞 a ③	→	伝聞 a ④	伝聞のまま
320	推量 c ②	→	推量 c ②	推量のまま
330	推量 d ②	→	伝聞 a ③	改善

5・4・2 指導者による誤用の原因確認

後日、参加者23人全員にS10の「いいそうです」に誤用が見られた事を明らかにし、その理由を探るためだと伝え、口頭で質問を行った。

質問1:「いいそうです」を他の日本語に言い換えてください。

答1 : ・いいと聞きました

・いいらしいです

・いいみたいです

質問2:(設問全文を読み上げて) この「いいそうです」はどういう意味ですか。

答2 : ・誰かから聞いた事を言っている

・ガイド本などで読んだ事を言っている

・何かしらの情報源を元に香りがいいと知っている

・香りがいいと思っている

質問3:「香りがいいと思っている」はどういうことですか

答3 : ・そう思った

・それ以外に言いようがない

質問4:日本語に「いいそうだ」と「よさそうだ」があります。この「香りがいいそうです」はどんな意味ですか。

答4 : 誰かが言ったかどこかで読んだこと

質問4で初めて全員が伝聞の意と答えた。

5・4・3 参加者自身の自由発言による誤用の原因確認

ワークシートの分析にあたり、筆者と参加者は先生と学習者の立場になるため誤用の理由を探るやり取りにおいて本当のことが言い難い、自由に話せないなどの少なからずの壁が存在する。そのため筆者が尋ねて参加者が答える形式ではなく、参加者が自由に話すようにフリートークを誘導した。参加者の自由発言から得られた「そうだ」の誤用の理由をまとめると次の三つになる。

ア.「そうだ」=「것 같다」[コッ カッタ:みたいだ]が一対一対応していたから

イ.「そうだ」を別の言い回しにしなければならないと思ったから

ウ.そう思ったから(明確に説明できない様子)

ア.「一対一対応」は文の意味を全く考えず機械的処理をしたと言い換えられる。多くの韓国語教材で「것 같다」[コッ カッタ:みたいだ]が「고 하다」[ゴ ハダ:だそうだ]より先に取り上げられている。

推量「것 같다」と伝聞「고 하다」は中級教材で取り上げる項目であるが、伝聞「고 하다」は取り上げない教材もある。両方取り上げている教材の一部を示す⁽¹⁷⁾(表8)。

表8 韓国語教材における「것 같다」と「고 하다」の掲載

筆者	教材名	것 같다：推量	고 하다：伝聞
田星姫・河村光彦	しっかり身につく韓国語 トレーニングブック	41 課	49 課
飯田秀敏 他	韓国語の基礎Ⅱ	4 課	8 課
油谷幸利・金恩愛	間違いやすい韓国語表現 100 初級編	9 課	6 課
李昌圭	韓国語を学ぼう 中級	7 課	7 課

『間違いやすい韓国語表現 100 初級編』は珍しい例で、第6課で伝聞「고 하다」を第9課で推量「것 같다」を取り上げているが、後続に当たる『同 中級編』の第1課で伝聞「고 하다」を更に詳しく取り上げている。『韓国語を学ぼう 中級』では同じ第7課で「것 같다」と「고 하다」取り上げているが7-1で「것 같다」を7-3で「고 하다」を説明しており、同じ課であっても同日に学習することは難しい。7-1と7-3の学習に一週間ほどの時間が空くと学習者の中では先に学んだ「것 같다」[コッ カッタ]が「そうだ」と先に結び付き「것 같다=そうだ」の関係が出来上がった後に「고 하다」[ゴ ハダ]を学ぶことになる。

しかし「そうだ」同様、教材で前後に掲載されるS4の「고」[コ：て]と「서」[ソ：て]、S5の「지만」[チマン：けれども]と「는데」[ヌンデ：だが]ではS10ほどの誤用は見られなかった事から教材の掲載順のみを誤用の理由にすることはできない。

イ。「別の言い直し」は大学生から多く言われた意見で、韓国語に上手く訳せなかったから何とか言い換えようとして絞り出したのが「みたいだ」=「것 같다」[コッ カッタ：みたいだ]であったとのことだった。しかし、伝聞を推量に取り違えたことには変わりなく、誤用の原因説明として妥当ではない。

ウ。「そう思ったから」は誤用の自覚がない者の答えで、日本語の「そうだ」に対する認識が明瞭ではないためと推測される。日常生活で伝聞「そうだ」と様態「そうだ」を無意識に混同して使用しても支障をきたすことがなかったため、口頭確認でも「いいみたいです」と答えた可能性がある(5・4・2)。日本語そのものの認識の曖昧さが韓国語表現、つまり他言語表現で明らかになったと分析できる。

6. 結び

今回のワークシートでは異なる教室、異なる教科書で学び、異なる学習歴を持つ参加者が同

一の日本語を韓国語に訳す際、学習者の持つ属性に関わりなく誤用が見られた。助動詞「そうだ」は伝聞と様態の働きを持つが、これらは「終止形+そうだ」と「連用形+そうだ」で活用形から異なる事を中学校2年生で学習する⁽¹⁸⁾。更に、今回のワークシートは、文脈を有し前後から文意を判断できる文で構成したため、誤解による誤訳が生じにくいと筆者は予想した。ところが、十分な韓国語の文法知識を有する上級学習者から誤訳の現象が確認できた。従って、他言語表現を指導する際、他言語の文法を学ぶだけでなく母国語において誤認識をしないか配慮しながら指導しなければならないことが分析できる。

5.3.3. のウ、「そう思ったから」と答えた学習者は日本語の正しい理解をしてないことに気付かず、他言語学習を通じて母語の誤認識が明らかになった。他言語に訳する場合、単なる置き換えができない助動詞は特に正しい母語認識が必要と考察できよう。

グローバル化が進む今日、発話意図を正確に伝えるためにも母国語に対する確かな認識が必要であり、豊かなコミュニケーションを支えられる表現力は重要である。従って言語獲得期とされる乳幼児期から母国語に対して正しい認識をもてるような支援・教育や環境づくりが必要であることを指摘したい。

今回のワークシート回答は限られたデータ量であったが、他言語表現における誤用要因と分析できる有意味な現象が見られた。今後、データの量を増やし、母語の言語認識を基底とする他言語表現研究を続ける必要がある。更に、正確な意思伝達に必要な言語認識を養える言語教育及び他言語教育の利用について研究を広げたい。また今回の成果を踏まえ他言語学習における母語認識の影響を重視しつつ言語教育を行いたい。

謝辞

ワークシートにご参加頂いた朝日カルチャーセンター北九州教室の皆様と西南学院大学の皆様、ワークシート設問においてネイティブチェックをして頂いた竹森弓華氏に深く感謝致します。同時に、ご意見頂いた高杉志緒先生に心から感謝致します。

注

- (1) 김중섭・이정희: 일본인 한국어 학습자의 작문에 나타난 주격조사 오류 연구, 이중언어학, 第 36号, pp.75 ~ 76, 2008
- (2) 白寅英、山田佳子、宋美玲、印省熙: 韓国語中級学者の作文における誤用分析—非専攻者の場合—, マテシス・ウニウェルサリス, 18 (2), pp.73 ~ 97, (2017)
- (3) 福間康子: 作文からみた初級学習者の格助詞「に」の誤用, 九州大学留学生センター紀要, 8, pp.61 ~ 74, 1997
- (4) 韓国語で因果関係を表す場合3つの言い回しがある。
 - ① 피곤하니까 택시를 타요. [: 疲れているからタクシーに乗ります]
 - ② 피곤해서 택시를 타요. [: 疲れているのでタクシーに乗ります]
 - ③ 피곤하기 때문에 택시를 타요. [: 疲れているためタクシーに乗ります]

- 同じ理由を表す言い回しでも①は過去時制に接続できるが②は過去時制を用いず過去と理解するなど、その使用には相違点がある。しかし多くのテキストで①～③の順に掲載しているため②も時制語尾の後に接続したり、①のみを使用したりと掲載順に影響される学習者がいる。
- (5) 迫田久美子：学習者の誤用を生み出す言語処理のストラテジー (1), 広島大学日本語教育研究, 11, pp17～22, 2001
- (6) 若生正和：韓国人日本語学習者の誤用分析, 大阪教育大学紀要第I部門, 第59巻(1), pp.109～119, 2010
- (7) 迫田久美子：日本語学習者における指示詞ソとアの使い分けに関する研究, 第二言語学会, 1号, pp.57～70, 1997
- (8) 泉文明：韓国語話者の日本語誤用例の分析, 日語教育, 第9輯, pp81～109, (1993)
- (9) 許明子：韓国の日本語教科書における受身文の分析, 日本語教育方法研究会誌, 8巻2号, pp22～23, 2001
- (10) 尹テレサ：韓国人日本語学習者における第二言語から第一言語への転移現象—授受表現「てもらう [a/eo batda]」形に焦点を当てて, 社会言語科学, 17巻(1), pp49～60
- (11) 本稿では、韓国語表記について [] の中にその発音と日本語訳を示す。
例) 한국 [ハングク：韓国]
- (12) 以下の語彙である。
徳壽宮=덕수궁 (S4、5、7) 石垣=돌담 (S5)
綺麗だ=예쁘다 (S6) 仁寺洞=인사동 (S8) ワッフル=와플 (S7、8)
아름다운茶博物館=아름다운차 박물관 (S9)；実在する伝統茶屋の店名
木蓮茶=목련차 (S9) つまらない=심심하다 (S13)
- (13) 국립국어원：「외국인을 위한 한국어 문법 2」, 커뮤니케이션북스, 서울, 906pp, 2005
- (14) 大葉美穂子：いわゆる様態の助動詞「そうだ」再考—「ようだ」との比較, 日本語と日本語教育, 43, pp.2, 2015
- (15) 韓国語の連体形は現在形と未来形がそれぞれ異なっており動詞と形容詞の活用が異なる唯一の例でもあるため、多くの学習者が苦手とする項目である。좋은 것 [チョウンッゴ：いいもの] は現在連体形、좋은 것 [チョウルッゴ：いいもの] は未来連体形であるが、形容詞の連体形は多くの教材で現在形を中心に説明がなされている。未来及び過去連体形は教材を離れ補足説明で補うが馴染みが薄く、形容詞の連体形=現在時制のみと理解する学習者も少なくない。
- (16) 韓国への短期語学留学の経験有無や韓国語を教わった教師の数などが異なる。
- (17) 表8で取り上げた教材は次の通りである。
李昌圭：「韓国語を学ぼう 中級」, 朝日出版社, pp.97, 2007
飯田秀敏・鄭芝淑・宮本桃子：「韓国語の基礎II」, 朝日出版社, pp.160, 2017
田星姫・河村光彦：「しっかり身につく韓国語トレーニングブック」, ベレ出版, pp.364, 2002
油谷幸利：「間違いやすい韓国語表現 100 中級編」, 白帝社, pp.154, 2006
油谷幸利・金恩愛：「間違いやすい韓国語表現 100 初級編」, 白帝社, pp.141, 2007
- (18) 文部科学省：第2章 第1節 国語〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕
(1)イ)、「中学校学習指導要領「生きる力」」、http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/chu/koku.htm、2007年公示・2008年施行
なお、該当箇所は次の通りである。
「(エ) 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること」